# 完成基準のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 作業範囲・付帯作業・担当区分の共有と、認識違いによる追加調整を振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

## 1　作業前に、範囲・付帯作業・担当区分を共有する

作業範囲（場所・数量・どこからどこまで／含まない作業）：

付帯作業（養生・開口・補修・清掃・写真など、必要な作業）：

担当区分（自社・他業者・誰が担当するか／引き渡しの境目）：

共有する相手・方法／担当が未確定の作業と、確認先・期限：

## 2　終業時に記録する

プロセスKPI：作業前に、作業範囲・付帯作業・担当区分を共有できた回数

結果KPI：作業範囲の認識違いによる追加調整・手戻り件数

| 日付 | 作業前に3項目を<br>共有できた回数 | 作業範囲の認識違いによる<br>追加調整・手戻り件数 | 対象作業・共有先・担当の境目<br>認識違い・追加調整や手戻りの内容 |
|---|---|---|---|
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| ／ | 回 | 件 | |
| 合計 | 回 | 件 | |

※ 回数：作業前に3項目すべてを共有できたら1回。同じ作業への繰り返し共有は除外。付帯作業なしも共有。
※ 件数：範囲の認識違いで追加調整・やり直しが必要になった事案を、判明日に1件。両方生じても同じ事案は1件。
※ 予定していた調整や、合意した仕様変更による対応は除外。原因を関係者で確認。該当なしは「0」、休日は「休」。

## 3　気づきと、次に作業範囲・担当区分の共有方法を見直すこと

人を責めるためではなく、作業範囲・付帯作業・担当区分の決め方や、共有方法の見直しに使います。